



平成21年 4月23日

各 位

大阪府吹田市豊津町1番33号
 株式会社ダスキン
 代表取締役社長 山村 輝治
 (コード番号: 4665 東証第一部・大証第一部)
 問合せ先 取締役
 鶴見 明久
 電話 06-6821-5071

業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年1月8日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)通期の業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 修正の内容

(1) 連結

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	190,500	11,100	12,800	4,810	71円38銭
今回修正予想(B)	188,500	12,300	14,400	6,400	94円97銭
増減額(B-A)	△2,000	1,200	1,600	1,590	23円59銭
増減率(%)	△1.0	10.8	12.5	33.1	33.1
(ご参考)平成20年3月期実績	192,344	14,263	15,259	7,196	106円80銭

(2) 個別

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	165,000	8,400	12,100	5,035	74円72銭
今回修正予想(B)	162,800	9,700	14,000	7,300	108円33銭
増減額(B-A)	△2,200	1,300	1,900	2,265	33円61銭
増減率(%)	△1.3	15.5	15.7	45.0	45.0
(ご参考)平成20年3月期実績	167,067	11,710	14,797	7,020	104円18銭

2. 修正の理由

当社は、米国サブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱長期化を背景とした景気悪化、個人消費の弱まりを主因として、平成21年1月8日に業績予想の修正を行いました。その後も世界規模の景気後退は続き、国内企業の業績不振、雇用情勢の悪化、個人消費低迷は益々深刻な状況となっており、当社もその影響を大きく受け、売上の確保は極めて厳しい状況であり、売上高につきましては前回予想を下回る見込みであります。

一方利益面におきましては、株価低迷に伴う保有有価証券の評価損の計上があったものの、経費の見直しに取り組んだこと、上場有価証券評価損の税務上の損金算入等により、各段階利益で前回予想を上回る見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

株式会社ダスキン 広報室 電話 06-6821-5006

以上